

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

(令和5年度～令和9年度)

令和4年12月

南 幌 町

目 次

1	はじめに	1
2	備蓄体制に係る基本的な考え方	1
	(1) 家庭内備蓄について	1
	(2) 事業所内備蓄について	2
	(3) 流通備蓄について	2
	(4) 行政備蓄について	4
3	災害備蓄品整備対象人口	4
4	備蓄場所（指定避難所等）	5
5	災害備蓄品目と目標数量	6
	(1) 食料等	6
	(2) 生活必需品	6
	(3) 防災資機材	7
	(4) 感染対策用品	8
	(5) その他付属する品目	8
6	災害備蓄品整備（購入）計画	9

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

1 はじめに

南幌町におけるこれまでの災害備蓄に対する考え方は、町民自らの食料や生活必需品の家庭内備蓄を基本とし、次に協定に基づく企業・事業所等の協力を活用することで、町が直接備蓄を確保する行政備蓄については、南幌町災害備蓄品整備計画（平成23年度～平成29年度）及び第2次南幌町災害備蓄品整備計画（平成30年度～令和4年度）により、備蓄品及び数量を確保することとしてきました。

しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災においては、被害が広範囲におよび各種ライフラインや交通手段が寸断し、市町村公共施設も大きな被害を受け、大規模広域災害となった場合には、物資調達や配送に支障が生じ、流通在庫備蓄が即応できないという状態となりました。

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、本町において大きな被害はなかったものの、北海道内の全域で停電となる異例な事態が発生しました。町内の指定避難所及び福祉避難所には、非常用発電機が設置されていないことから、停電時の対応、冬期間の停電における防寒対策に対応すべく資機材等の整備、さらには、避難所開設時における迅速な炊き出しに対応すべく整備が必要となりました。そして令和2年2月に感染拡大した、新型コロナウイルスなどの感染症にも対応した災害備蓄品のさらなる充実が求められています。

このような状況を踏まえ、災害時により一層円滑な応急対策活動に資するための備蓄体制の強化を図ることを目的に「第3次南幌町災害備蓄品整備計画」を策定し、計画に沿って順次備蓄（食料品等更新含む）を進めることで「安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり」の実現を目指すものです。

なお、本計画は、状況の変化や新たな課題などが生じた場合には、必要に応じて検討を加え、修正することとします。

2 備蓄体制に係る基本的な考え方

本計画における災害時の備蓄体制は、①自助（町民自らの力で行う）、②共助（事業所や行政区・町内会等で助け合う）③公助（公的機関が支援を行う）の考え方を基本とし、家庭内備蓄、事業所内備蓄、流通備蓄の活用と町が行う行政備蓄を強化することで、町民・事業所・行政が一体となった備蓄体制の構築に努めるものとする。

（1）家庭内備蓄について

家庭内備蓄とは、町民が自らの家庭内において3日間程度の食料や飲料水、ラジオ、懐中電灯、医薬品等を用意し災害時にすぐに持ち出せるよう保管するなど、日頃から災害時に必要な物資を準備しておくことをいう。

なお、家庭内備蓄の推進にあたっては、日常使用している食料品の買い置きを活用する

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

ことで十分可能であることや乾物類のような長期保存に耐え得るもの、持ち運びに便利で調理に手間のかからない品目を確保するよう町は啓発に努める。

【家庭内備蓄で用意することが望ましいもの】

種別	主な品目
食料	レトルト主食（白米、五目御飯、白粥）、米、アルファ米、即席めん、パン類、菓子類、各種缶詰、粉ミルク、離乳食等
飲料水	1人あたり1日3L以上
生活必需品	衣類（冬季は防寒服）、軍手、毛布、タオル、ティッシュ、マスク、手指消毒用アルコール、懐中電灯、救急医薬品、常備薬、携帯電話充電器、ラジオ、ポータブルストーブ、発電機等

（2）事業所内備蓄について

事業所内備蓄とは、家庭内備蓄と同様に3日間程度の備蓄品を事業所内に確保しておくことをいう。

各事業所は、災害時に帰宅が困難となった者の安全が確保できるまでの間、事業所内に待機させることができるような体制整備に努める。

【事業所で用意することが望ましいもの】

種別	主な品目
食料	レトルト主食（白米、五目御飯、白粥）、米、アルファ米、即席めん、パン類、菓子類、各種缶詰、粉ミルク、離乳食等
飲料水	1人あたり1日3L以上
生活必需品	衣類（冬季は防寒服）、軍手、毛布、タオル、ティッシュ、マスク、手指消毒用アルコール、懐中電灯、救急医薬品、常備薬、携帯電話充電器、ラジオ、ポータブルストーブ、発電機等

（3）流通備蓄について

流通備蓄とは、町内の事業所等と町があらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資（食料や生活必需品等）を調達することをいう。

町では、食料、生活必需品、資機材の供給、運搬等に関して各種協定を締結しており、災害時には、これらの協定に基づき、円滑な物資の調達に努める。

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

【災害協定締結一覧（令和4年11月現在）】

協定名	協定先	締結年月日
災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定書	北海道コカ・コーラボトリング（株）	H19.12.5
災害時等における北海道及び市町村相互の応援に関する協定	北海道市長会・北海道町村会	H20.6.10
災害時における南幌郵便局と南幌町の協力に関する協定	南幌郵便局	H20.6.30
災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	南幌町農業協同組合	H20.7.14
災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	南幌町商工会	H20.7.14
災害時における応急対策業務の協力に関する協定書	南幌町建設業協会	H20.7.14
応急・復旧活動の支援に関する協定書	北海道エルピーガス災害対策協議会	H22.8.10
南空知災害時相互応援に関する協定書	南空知4市5町	H24.11.26
災害時の連携に係る協定書	陸上自衛隊第72戦車連隊	H25.12.24
災害時における機器の調達に関する協定書	（株）共成レンテム 栗山営業所	H26.5.1
災害時における貨物自動車輸送の協力に関する協定書	札幌地区トラック協会岩見沢支部	H26.8.7
災害時における機器の調達に関する協定書	北海産業（株）北広島営業所	H27.3.30
災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定書	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	H29.8.31
災害時における石油類燃料の供給等に関する協定	南空知地方石油業協同組合	H31.3.29
災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー株式会社	H31.4.1
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社セコマ	R元.12.6

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

災害時における物資の緊急・救援輸送等に関する協定	ヤマト運輸株式会社(千歳主管・北広島支店)	R2.8.3
南幌町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定	社会福祉法人 南幌町社会福祉協議会	R2.11.6
災害時における機器の調達に関する協定	日立建機日本株式会社 北海道支社	R3.3.1
災害時における支援に関する協定	アサヒプリテック株式会社	R3.5.13
災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定書	佐川急便株式会社	R4.3.1
災害時におけるレンタル車両の優先貸借に関する協定	株式会社トヨタレンタリース新札幌	R4.3.28
大規模災害時における相互協力に関する基本協定	北海道電力株式会社	R4.5.31
災害時における仮設トイレの設置及びし尿収集・運搬等に関する協定	協業組合エクセル三和	R4.6.22
大規模災害時における相互協力に関する基本協定	東日本電信電話株式会社北海道事業部	R4.11.7

(4) 行政備蓄について

行政備蓄とは、町が平時から行う食料等の備蓄をいう。大規模広域災害時には、家屋の倒壊、焼失等により、多数の避難者、負傷者の発生が予想されることから、平時から食料、生活必需品、避難所資機材の備蓄に努める。

3 災害備蓄品整備対象人口

災害備蓄品整備対象人口(以下「対象人口」という。)については、北海道公表の地震被害想定調査結果において、本町に影響を及ぼすと考えられる内陸型地震のうち、石狩低地東縁断層帯主部の地震による避難者を941人と想定していることから、対象人口を1,000人とする。

なお、対象人口1,000人のうち、食料品及び生活必需品について個別対応が必要となる年齢区分を次のとおりとする。

【南幌町の人口及び世帯数(令和4年11月1日現在)】

人 口	世帯数
7,500人	3,553世帯

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

【対象世帯】

1世帯平均人数	対象世帯
2.11人	474世帯

【年齢区別の対象人口】

年齢等区分	構成割合	対象人口
0歳	1%	10人
1歳から2歳	1%	10人
3歳から74歳	80%	800人
75歳以上	18%	180人
合計	100%	1,000人

年齢等区分	構成割合	対象人口
10歳から55歳女性	21%	210人
要介護認定3以上	2%	20人

【年齢区分により必要となる備蓄品】

年齢等区分	必要となる主な備蓄品
0歳	液体ミルク、紙おむつ（乳児用）、哺乳瓶
1歳から2歳	おかゆ（アルファ米）、紙おむつ（幼児用）、ソーセージ
3歳から74歳	白米等（アルファ米）、パン、ソーセージ、カレー、缶詰
75歳以上	おかゆ（アルファ米）、パン、ソーセージ

年齢等区分	必要となる主な備蓄品
10歳から55歳女性	生理用品
要介護認定3以上	紙おむつ（高齢者用）、簡易ベッド

4 備蓄場所（指定避難所等）

災害備蓄品については、防災倉庫を基本とし各指定避難所の空きスペースを活用して保管するが、スペース不足等により災害備蓄品の保管ができない指定避難所もあることから、状況に応じ、他の指定避難所等にて備蓄する。

- (1) 南幌町役場・防災倉庫（南幌町栄町3丁目2番1号）
- (2) 南幌町農村環境改善センター（南幌町中央2丁目3番2号）
- (3) 南幌町スポーツセンター（南幌町中央2丁目4番1号）

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

- (4) 南幌町保健福祉総合センター「あいくる」(南幌町中央3丁目4番26号)
- (5) 南幌町ふるさと物産館「ビューロー」(南幌町中央1丁目2番22号)
- (6) 南幌町生涯学習センター「ぼろろ」(南幌町栄町3丁目3番1号)
- (7) 南幌小学校(南幌町美園2丁目6番1号)
- (8) 南幌養護学校(南幌町緑町5丁目1番1号)
- (9) 南幌中学校(南幌町栄町3丁目3番2号)
- (10) 南幌高等学校(南幌町元町3丁目2番1号)
- (11) 南幌めぐみ学園(南幌町元町1丁目6番1号)

5 災害備蓄品目及び目標数量

品目については、食料等、生活必需品、避難所資機材の整備を進めることとします。

(1) 食料等

災害発生後3日目以降は、流通在庫備蓄対応割合の増加、救援物資の到着が予想されること、また、家庭内備蓄の積極的な推進を図ることから、1,000人の対象人口に対し、1日分(3食分)を目標に備蓄を行うこととする。

【食料等備蓄品目及び目標数量】

品目	対象年齢等	目標数量	1人あたりの量
液体ミルク	0歳	50缶	5缶(240ml)
おかゆ(アルファ米)	1歳から2歳	30食	3食
白米等(アルファ米)	3歳から74歳	1,600食	2食
パン	3歳以上	980食	1食
ソーセージ	1歳以上	990食	1食
カレールー	3歳から74歳	800食	1食
缶詰(さんまのかばやき)	3歳から74歳	800食	1食
おかゆ(アルファ米)	75歳以上	360食	3食
飲料水(500ml)	全員	3,000L	3L

(2) 生活必需品

生活必需品については、避難生活をするにあたって、当初から必要不可欠と考えられる最低限の物資の整備を行うものとする。

【生活必需品目及び目標数量】

品目	対象年齢等	目標数量	1人あたりの量
毛布	全員	1,000枚	1枚
敷きマット	全員	1,000枚	1枚

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

寝袋	全員	1,000個	1個
食器セット	全員	3,000個	3個
哺乳瓶	0歳	20本	2本
おむつ(乳児用)	0歳	150枚	15枚
おむつ(幼児用)	1歳から2歳	100枚	10枚
おむつ(高齢者用)	要介護認定3以上	100枚	5枚
簡易ベッド	要介護認定3以上	20台	1台
生理用品	10歳から55歳女性	1,440枚	6枚
トイレトペーパー	—	100個	—
組立式便座	—	40個	—
トイレ袋	3歳以上	2,940枚	15枚
トイレ用テント	—	40個	—
オストメイト専用トイレ	—	1個	—

※トイレ袋は、要介護認定3以上の方を除く、また、1人5袋/日×3日分

(3) 防災資機材

防災資機材については、避難生活をするにあたって、当初から必要不可欠と考えられる最低限の機材の整備を行うものとする。

【防災資機材品目及び目標数量】

品目	目標数量	避難所あたりの量
発電機(1.6KVA)	16基	2基
発電機(5.5KVA)	9基	1基
投光機(2灯式)	24基	3基
LED非常灯	100個	10個
防災用ろうそく	150個	15個
カセットガスコンロ	50個	5個
カセットガスボンベ	150本	15本
コードリール	20個	2個
救急セット	20個	2個
ポータブルストーブ	40台	5台
大型ストーブ	18台	2台
携行缶20L(ガソリン)	10缶	1缶
ポリタンク20L(灯油)	20個	2個

第3次南幌町災害備蓄品整備計画

ブルーシート	50枚	5枚
拡声機	30個	3個

※発電機（1.6KVA）、発電機（5.5KVA）等については、指定避難所への非常用発電機設置に伴い、目標数量を見直す。（臨時避難所への配置も検討）

（4）感染症対策用品

感染症対策用品については、避難所における感染症などの拡大防止を目的として、当初から必要不可欠と考えられる最低限の物資及び機材の整備を行うものとする。

【感染症対策用品品目及び目標数量】

品目	目標数量	算出方法
マスク	2,000枚	1人2枚
アルコール消毒液	50個	各避難所5個
除菌シート（10枚入）	1,000個	1人1個
非接触型体温計	20個	各避難所2個
ハンドソープ	80個	各避難所8個
フェイスシールド（24枚入）	10個	各避難所
簡易ベッド	120台	1台（2世帯）
プライベートルーム	156台	5避難所
間仕切りテント	140台	5避難所
簡易パーテーション	40個	5避難所
アルミ折りたたみ式マット	300個	5避難所

※5避難所（農村環境改善センター、スポーツセンター、小学校、中学校、生涯学習センターの多目的ホール、アリーナ、体育館）

（5）その他附属する品目

上記、災害備蓄品目のほか、施設の状況等に応じ附属する品目を整備する。

○災害備蓄品整備（購入）計画

項目	品名 (同等品可)	規格等	既備蓄数	目標数量
食料品	液体ミルク	明治ほほえみ らくらくミルク	40缶	50缶
	おかゆ	尾西の白がゆ（アレルギー対応製品）	510食	390食
	白米等	尾西の白米（アレルギー対応製品）	1,700食	1,600食
	クラッカー	サバイバルフーズ（約10食／缶）	1,020食	800食
	パン	災害用備蓄保存用パン（100g／缶）	816食	980食
	ソーセージ	おさかなソーセージ（50g）	1,200食	990食
	カレールー	温めずにおいしい野菜カレー（200g）	840食	800食
	缶詰	ちょうしたのかばやき さんま（100g／缶）	180食	800食
	飲料水	500ml	1,008L	3,000L
生活必需品	毛布	難燃エコ・織毛布1.6kg	1,000枚	1,000枚
	敷きマット	災害用救助マット	1,000枚	1,000枚
	寝袋	ロゴス 丸洗いスランバーシュラフ・0	430個	1,000個
	食器セット	エコロジー食器セット（100人用）	3,200個	3,000個
	哺乳瓶	240ml	20個	20個
	おむつ（乳児用）	新生児用～Sサイズ	164枚	150枚
	おむつ（幼児用）	M・Lサイズ	116枚	100枚
	おむつ（高齢者用）	大人用Mサイズ～Lサイズ	40枚	100枚
	簡易ベッド	組み立て式ダンボールベッド簡太くんⅡ	20個	20個
	生理用品		0枚	1,440枚
	トイレトペーパー	1ケース12ロール	0個	100個
	組立式便座	便座ベンリートイレ	10個	40個
	トイレ用袋	ベンリー袋・スケットイレ他（100回分）	1,925枚	2,940枚
	トイレ用テント	ベンリートイレテント・簡易トイレ	10個	40個
	オストメイト専用トイレ	テント付、折りたたみ式	1個	1個
防災資機材	発電機	YAMAHA EF1600is	16基	16基
	発電機	YAMAHA EF5500iSDE	9基	9基
	投光機	2灯式（500W） HS-500LW	24基	24基
	LED非常灯	閃SG-320	95個	100個
	防災用ろうそく	非常用ローソク T7302-00-99	150個	150個
	カセットガスコンロ	カセット・サン SN-29HP-DJ	44個	50個
	カセットガスボンベ	カセットガス・サン CB-250-SAGD4	266本	150本
	コードリール	防雨・防塵型 FW-E53	20個	20個
	救急セット	災害多人数用救急箱（約50人用）	20個	20個
	ポータブルストーブ	コロナ SX-E3713Y	34台	40台
	大型ストーブ	コロナ ニューブルーバーナー GH-C19F	18台	18台
	携行缶（ガソリン）	20L	10缶	10缶
	ポリタンク（灯油）	20L	20個	20個
	ブルーシート	3.6m×5.4m（2間×3間）	50枚	50枚
	拡声機	レイニーメガホンタフ TS-524	30個	30個

感染症対策用品	マスク	スクエアサージカルマスク (50枚/1箱)	0枚	2,000枚
	アルコール消毒液	JVC-500 500ml	50個	50個
	除菌シート (10枚入)	抗菌化ウエットシートアルコールタイプ	0枚	1,000枚
	非接触型体温計	T0-401	0個	20個
	ハンドソープ		80個	80個
	フェイスシールド	24枚入	10個	10個
	簡易ベッド	組み立て式ダンボールベッド簡太くんII	120台	120台
	プライベートルーム	WT-180	156台	156台
	間仕切りテント	220*220*180	140台	140台
	パーティション (10部屋)	マジックパネル4.5-10 (4.5畳×10部屋)	40部屋	40部屋
	アルミ折りたたみ式マット		300個	300個

※既備蓄数は令和5年3月31日見込み